

2021年3月 定時評議員会 議事録

1. 日 時 2021年3月18日(金) 17時00分～18時50分
2. 場 所 政治経済研究所 1F 映像・講話室およびオンライン
3. 住 所 〒136-0073 東京都江東区北砂1丁目5-4
4. 出席者 オフライン：建部正義(議長)、星野輝夫
オンライン：大日方純夫、坂本暉正、前畑憲子、山田朗、北村浩、
紺井博則、上原淳子、内田敬子
(評議員13名中10名出席)
理 事：相田利雄(代表理事)、合田寛、長谷川元彦
齋藤正美、石田博美、齊藤壽彦、原富悟
(理事10名中6名出席)
監 事：國吉昌晴
(監事2名中1名出席)

I 開会ならびに事務局説明

- ・事務局より、評議員13名中10名(オフライン2名、オンライン8名)が出席で定数を満たしたことが確認され、定刻通りの開催であることが告げられた。
- ・審議に先立ち、議事録署名人として大日方評議員と星野評議員が選任された。

II 招集者(代表理事)挨拶と法人運営の近況報告

- ・会議招集者として相田代表理事より挨拶がなされ、法人の近況が説明された。

III 法人組織ならびに評議員会の概略説明

- ・事務局より、公益財団法人に関して、評議員会の位置づけを中心に説明が行われた。

IV 評議員・理事・監事紹介および前回評議員会における質問への回答

- ①評議員、理事、監事が自己紹介を行った。

②法人の財務状況について

長谷川理事は、前回指摘されていた施設建て替えの資金積立と、センター会計から研究所会計への貸付金の処理について報告を行った。

坂本評議員より、法人の財務分析についての問題提起が行われ、全体の財務状況が厳しい状況にあることが強調された。特に、研究所の事業(公益目的事業I)の将来像や広報のあり方を、具体的な数値目標を設定した上で検討するよう要求された。

長谷川理事は、坂本評議員の問題提起を受けとめるとともに、研究活動を収益に結び付けられるか検討すると回答した。

星野評議員は、マンションの管理会社の委託料をどう考えるか、マンション入居者が法人の関係者であるかどうかについて質問を行った。

長谷川理事から、委託料についてはさしあたり妥当と考えていること、マンション入居者は法人の関係者ではないことが説明された。

星野評議員は、法人の活動に理解を示す人に対し、独自で賃貸のPRをする方針があってもよいのではないかと、質問の意図を説明した。

③ホームページ運用と広報のあり方について

柳事務局長代行は、前回指摘されていたホームページ運用のあり方について、1)KPIの検討、2)HPの内容改善、3)HPの告知の方法、4)アーカイブズの状況、5)具体的な広報の手順、6)今年度の実績に分けて報告を行った。

坂本評議員は、若い世代が中心となり広報のあり方を検討するべきことと、研究所所属の研究者はブログ等で発信を行うべきとの意見を表明した。

V 審議事項

議題1 評議員会会長の選任について

議案1 会長互選

相田代表理事より、昨年の評議員会（2020年3月19日開催）で、建部評議員が評議員会の互選により、会長に選任されたとの説明が行われた。そのうえで、相田代表理事は、本評議員会も引き続き建部評議員を会長としてよいか、評議員会に審議を求めた。

評議員会は、同評議員を評議員会会長とすることを、有効議席9名中9名の賛成で承認可決した。

議題2 2021年3月定期提出書類について

議案1 2021年度事業計画書について

齊藤正美理事より、1)概況、2)公益目的事業Ⅰ、4)法人組織整備が、石田理事より、3)公益目的事業Ⅱが説明された。下記では、2021年度から新たに追加・変更された計画について特に記述する。

①概況

概況については、戦後の高度経済成長から現在のグローバル化を説明する従来のものに加えて、新型コロナウイルス後の社会状況を組み込んだ。

②公益目的事業Ⅰ（学術研究の推進と研究者養成、研究成果の公表と刊行物の配布、調査研究受託の強化、調査研究の社会的還元事業）

事業のオンライン化に注力する方針を明確にするとともに、研究所と市民の「協働」を目指す「北砂アカデミア」の準備を進める。

③公益目的事業Ⅱ（調査研究事業、博物館事業）

事業のオンライン化に注力する方針を明確にするとともに、常設展示の「図録」作成、ホームページの英訳などを進める。

④法人組織整備と財政基盤の強化（組織整備、財政基盤の強化）

研究員制度の整備を重点的に行う。

評議員会は、2021 年度事業計画書を、有効議席 9 名中 9 名の賛成で承認可決した。

議案 2 2021 年度予算書について

長谷川理事は、2021 年度予算は新規の企画への支出を見越し上乗せしており、特に情報発信に力を入れる配分であると説明した。

評議員会は、2021 年度予算書を、有効議席 9 名中 9 名の賛成で承認可決した。

IV 評議員による意見表明


星野評議員は、センターの来館者は今年度減少したが、関心のある団体は確実に存在し、実績も出ているので、積極的な呼びかけをしてもらいたいと述べた。

上原評議員は、3 月 11 日の東日本大震災のニュースが多いが、自分の立場としては、3 月 10 日の東京大空襲の記憶を忘れてほしくないと考えており、記憶の継承に努力してもらいたいと述べた。

坂本評議員は、センターのテレビ報道を広報に利用できないか、メルマガをより有効活用するために大学教員らを通じてメルマガの拡大を図れないか、そして、オンライン研究会を拡充すべきであると述べた。

上記の議決を明確にするため、本日の議事録を作成し、議長ならびに議事録署名人および出席監事が押印する。

2021年 3月 24日
公益財団法人政治経済研究所

議長 建部 正義 

署名人 星野 輝夫 

大日方 純夫 

出席監事 國吉 昌晴 

(議長)



(評議員)



(監事)

